

高西地区 から こんにちは  
今月の 気になる人

興津地区より



2023/06/06



2023/

じいじ大好き!

おかべ かいと  
岡部 快杜くん(1)

とってもかわいいお客さんが興津支所にご来店♪ 快杜くんは生まれた時からよくお母さんと一緒に興津支所に遊びに来てくれています。

じいじと軽トラが大好きな快杜くん! 祖父の岡部勤さんは興津でミョウガを栽培しており、軽トラを見ると「じいじ、じいじ」と教えてくれます! 先日来店してくれた時には、購買店舗内に飾ってある平成17年に撮影したJA四万十興津園芸部の写真に写るじいじを見つけるとすぐさま指をさして教えてくれました(^)/

とってもかわいい笑顔の快杜くんにみんな癒されています♡ じいじが大好きな快杜くんも大きくなったら跡をつぐのかな、、、将来が楽しみです!



津野山地区より



祖父の勝征さんと一緒に作業を行っています!



祖父から学んだこと  
活かしていきます!

いまはしゅうへい  
今橋 周平さん(30)

今年4月から農業を始めた周平さん。祖父の勝征さんから教わりながら、津野町でお茶を2.3ヘクタール栽培しています。以前は8年間小学校の先生として勤めていましたが、勝征さんの茶園を手伝い、農業を学ぶために地元の津野町へ戻ってきました。高校生の頃から収穫時に茶園を手伝うなど、昔から農業をする祖父の背中を見ていたため、農業には興味を持っていたそうです!

取材にお邪魔した茶園は、「茶園が出来上がる時から関わってきたこともあり、思い入れがある」と笑顔で話す周平さん(^) 来年からはさらに自分ができることを増やしていき、これからも「津野町でお茶の栽培を続けていけるよう、祖父から様々なことを学びながら栽培をしていきたい!」と意気込みを話してくれました。

今後活躍していく周平さんを応援しています!!

四万十地区より



果物だけやない、野菜を使った  
かき氷も販売しゆうよ♪

きたむら ひでお  
北村 英男さん(75)

岩本寺の隣にある八百屋「まるい青果市場」を営んでいる笑顔がすてきな北村さん。出身は高知市ですが、父の後を継ぐため四万十町に来られ、商売を始められたそうです。まるい青果市場には季節の旬の果物が並んでおり、夏の期間発売されている果物が入ったふわふわなかき氷が大人気! その時の旬の果物だけでなく、高知の野菜を使った珍しいかき氷が販売されていました。

10年ほど前、お遍路さんが岩本寺の帰りに休憩がてら寄ってもらいたいという思いからかき氷を始められたそうです。今では「町外だけでなく県外からもかき氷目当てにたくさんのお客さんが来てくれてゆう。おいしいかき氷をたくさんの人に食べてもらえて嬉しい!」と、北村さんは笑顔で話していました(^)/

これから夏本番! 北村さんが作るふわふわな絶品かき氷をぜひ食べにきてくださいね~♪



写真右はきゅうりのかき氷  
野菜のかき氷の他にはフルーツマトや  
オクラ、生姜も絶品です♡



# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



ミョウガのバック詰めを行っています。

## 1 四万十地域

### 「四万十みょうが」出荷最盛 JA職員も応援に出動

6月に入り、高西地区管内でミョウガの出荷が最盛期を迎えました。JA職員も応援に駆け付け、地区の主要品目であるミョウガの出荷に注力しています。繁忙期には、日頃、作業に関わらない部署を含め全部署に応援を要請して対応しています。

職員は管内3カ所の野菜集出荷場で選果作業や、包装作業を行いました。ピーク時には1日延べ35人が出動し、日量で約20万パックの出荷作業にあたりました。同地区の竹吉功経済担当常務は「一昨年の豪雨災害を乗り越えて栽培面積も回復し、生産者も一生懸命作業を行っている。職員には日常業務に加えて作業の負担がかかるが、生産者とJAが一体となってこのピークを乗り越えたい」と話しました。

四万十町興津地区は、海岸部の温暖な気候条件を生かした県内でも有数のミョウガ産地。四万十ハウスミョウガ部会では46戸の農家が14ヘクタールで周年出荷に励んでいます。鮮やかな紅色とポリウム感が特徴で「四万十みょうが」として全国各地に出荷しています。



農家の皆さんが真剣に講義を受けています。

## 2 津野山地域

### アセビ等山取花木活用推進研修会

集落活動センター「おちめん」で6月7日、アセビ等山取花木活用推進研修会が行われました。講師に高知県林業振興部と株式会社フラワースタジオの切花本部営業部を招き、市場での現状や市場性の高い山取花木について講義いただきました。

現在、日本産アセビの輸出需要が高まっており、国内においてもイベントやエントランスの装飾、生け花やホームユース用に需要があるため、花木の可能性は無限大！また、津野山の山地には有用な花木類が豊富に自然分布していることから、「ぜひ出荷を」と市場における実態もお話いただきました。

その後、越知面地域の山林にて県内で見られる有用花木類について現地を確認。計画的に出荷するための除伐収穫の方法も交えて研修していただきました。出席された花木農家の皆さんは、専門的な講義に真剣な眼差しで勉強されており、今後の出荷も大いに期待できそうです。

## 3 四万十地域

### 安心安全な農産物の出荷へ



参加者はメモを取るなど講習会に関心を高めていました。

6月22日、直販所みどり市野菜栽培講習会・広域産直システム更新説明会を行いました。安心安全な農産物の出荷を行うため直販所を利用する出荷者が参加しました。講習会では、タキイ種苗株式会社から秋冬野菜の栽培方法について説明を受けた後、普及所から農薬の安全使用についての説明が行われました。広域産直システム更新説明会では、みどり市前田店長から今後、産直管理の為に広域産直システムへ変更をすることについての説明を行い、出荷時の注意点について呼びかけました。

## 4 津野山地域

### 小学生が出荷場を見学



津野町の野菜や特産品についてたくさん学んでいってください！

津野町立中央小学校の6年生が7月6日、出荷場見学に訪れました。中央小学校では総合学習の授業の中で、津野町の野菜や特産品について学習を行っています。

児童らは出荷場を訪れ、どんな品目の野菜の出荷があるのかJA職員の説明に熱心に耳を傾けていました。また、米ナス・小ナスの出荷梱包作業や、ミョウガ・土佐甘とうのバック詰め作業なども見学。今後は、実際に農家の圃場にも伺い、収穫体験などを行っていく予定です。

## 5 四万十地域

### みどり市でミニミニ料理教室を開催



「おいしい〜！」との声をたくさんいただきました。

四万十地区女性部松葉川支部は7月5日、直販所「みどり市」でミニミニ料理教室を開き、来店者に試食を振る舞いました。今年度はコロナの影響もあり久しぶりの開催となり、多くの来店者に料理を楽しんでいただきました。今回はおから、山菜おこわ、リュウキュウの酢和え、ミョウガの葉で包んだお餅を振る舞い、来店者に作り方のコツや手軽さを紹介しました。

来店者からは「とってもおいしい。さっそく家でも作ってみたい。」と好評でした！四万十地区女性部では月に1回みどり市でミニミニ料理教室を開催しているため、ぜひお立ち寄りください。

## 6 津野山地域

### 品質向上を目指して



出荷規格について説明を行っています。

津野山みょうが部会は6月20日、出荷目慣らし会を行いました。当日は生産者、出荷場共選員、農業振興センター等関係者32人が参加。トレーの詰め方の良い例・悪い例や、色味・形状の良し悪し等の規格の目合わせを行い、今後の本格的な出荷を前に関係者の意識を共有しました。また、農業振興センターがハダニについての対策等の情報提供、燃油高騰対策事業の説明を行いました。

津野山地域のみょうがの収穫は、11月末ごろまで続く予定です。



津野山地域より

# ユズの収穫にお困りの方へ

JA高知県津野山青壮年部が、  
収穫作業を受託します。

- ・作業が大変なので収穫をあきらめている方
- ・体調を崩して収穫できない方
- ・全部取りきれぬか不安な方
- ・毎年手伝ってくれていた人が来られなくなった方 など



◆受託できる作業：ユズ収穫

◆料金の目安：1aあたり 6,000円  
1時間あたり 1,500円

園地の立地条件等により変わってくるため、ご相談ください。

詳しいことをご存知になりたい方は、以下までお問い合わせください。

※必ず受託できるとお約束するものではありません。

◎お問い合わせ先：JA高知県津野山青壮年部事務局  
(JA高知県高西地区高西営農経済センター津野山経済課)  
担当：高橋 (TEL. 0889-62-3501)



四万十地域より

## 四万十野菜集出荷場 8月1日より運営開始!!



令和5年8月1日より、四万十野菜集出荷場の運営が開始されます!

この集出荷施設は、高西地区と幡多地区の共同で建設し、両地区で主要品目であるニラを将来にわたり安定的に生産・出荷するために建設された施設となっており、そぐり調整作業後の計量・結束・包装作業を行うようになっています。最盛期には1200梱程度の出荷を見込んでおり、共撰員さんについても最盛期は50人程度を見込んでいます。



計量結束機

そぐり終わった後のニラを計量器にのせていき、既定の重さになると自動で結束・包装作業に移る機械。



パレタイザー

梱包されたニラの等階級を自動で判別し、それぞれの階級別パレットに積んでいく機械。(1パレットあたり8列×3段)

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

## 俳句

霧の里句会

じゃぶじゃぶと水路の暗渠木下閣  
真夜中の手洗ひ照らす夏の月

市川 和美

雨の中必死で蜜すう揚羽蝶  
久方の友等と集ふ梅雨晴間

田中 信子

花カラー卒寿を生きてときめくも  
立夏なり目葉さすも口開けて

今橋 孝子

空映すガラス風鈴風を生む  
涼み台に将棋さす亡父偲ひけり

長谷部 延子

デイサービス行けば紫陽花むかえ咲く  
池の鯉口あけ泳ぐ暑さかな

竹内 春猪

## 短歌

窪川短歌教室

雨降れば母がつくりし「たいこまん」妹もいて ほつこり雨の日

竹田 和子

墓掃除してる間にお供えの菓子袋ごとカラスに取らる

中内 佐登美

朱の色のサボテンの花さきつぎて五月明るく今日が始まる

市川 隆子

この初夏もまた会えたねとひとりごとと庭隅を走る小さなトカゲに

島岡 紀美

白生地に牧野博士のありのままの図をプリントし纏いてみたり

黒岩 やよえ

雨やみて夜明けの蒼がみつみつと庭に若葉に吾に満ちて来

市川 浩子

豌豆は七粒八粒行儀よくおしくらまんじゅう昭和のえんがわ

北村 さち子

ひな鳥の拙い声も混じりいてイソヒヨドリ囀りすがし

文野 見枝子

## 俳句

おたよりから

梅雨空で気分も晴れず明日待つ

(津野町・弘瀬 秀頼)

雑草もうなる声する今年夏

(津野町・村田 三喜子)

梅雨入り頭傾げる紫陽花も

(梶原町・松山 松美)

### INFORMATION

## お知らせ



## 人形・ぬいぐるみ・写真供養祭

思い出がたくさん詰まった人形・ぬいぐるみ・写真をご供養させていただきます。

**日時** 令和5年9月10日(日) 正午より

**場所** 葬祭会館ルミエール四万十(榊山町9-7)

**参加費** 無料

### 人形・ぬいぐるみ・写真の受付

当会場にて当日の9時～11時に受け付けます。  
但し、当日来られない方は、四万十支所、興津支所、大野見支所、十和支所にて、9月5日(火)～7日(木)まで受け付けを行います。  
※人形・ぬいぐるみは本体のみを受け付けます。ケースから出してご持参ください。  
※写真は額・アルバムから出して見えない様に袋に入れてご持参ください。

**お問合せ** 葬祭会館ルミエール四万十  
TEL: 0880-22-5900

※大人から子供まで楽しめる缶バッジ作りも9時より開催予定